

2017年2月24日

国立大学法人三重大学
学長 駒田 美弘 様

三重大学教職員組合
中央執行委員長 小田 敦子

公開質問状

日頃は、三重大学教職員組合の活動に対してご理解を頂き誠にありがとうございます。
工学部技術職員人事凍結問題に関する2016年7月22日付け公開質問状に対する回答を
2016年9月21日に受領しております。本内容について、再度質問させて頂きたく思いま
すので、本年3月8日までにご回答の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

1. 7月22日付け公開質問状に対する回答(書面20行目)にて、「工学研究科においては、
～(中略)～工学研究科と工学部・工学研究科技術部との話し合いの結果、～(中略)
～、今回、期間を限定して技術職員の欠員ポストを大学教員(助教)に充てることとな
りました」とありますが、工学部技術部として、技術職員の欠員ポストを大学教員
(助教)に充てることを合意した事実はありません。学長は工学研究科長から合意した
との報告を受けておられたのでしょうか。ご回答をお願い致します。
2. 工学研究科長へ同じ内容の質問状を工学部支部より送付し、回答を本年2月13日に
受領しております。回答には、「この学長からの回答は、今回始めて拝見しました。
なお、学長からの回答ですので、基本的に、私はこの回答文に関して答えられる立場
にないと思います」との回答でした。学長から工学研究科長へ本件の報告はされてい
ないのでしょうか?学長よりご回答をお願い致します。
3. 2月9日の技術部会議にて、工学研究科長より、「今回の協創工学センターへの助教採
用は、技術職員欠員ポストではなく、学長裁量経費を使用することも検討中」との発
言がありました。学長裁量経費を使用する事で、本来行われるべき技術職員の新規採
用を行い、技術業務の継承、研究・技術支援の推進が問題なく行えると考えておりま
す。本検討結果についても、ご回答をお願い致します。

以上